

♪新着案内♪

図書だより 4月号



平成30年4月23日 輪島市立輪島中学校

今月は、おながかなりそうな美味しい食べ物が登場する小説を紹介します。心いやされる本をぜひ、図書室に借りに来てください！

「ケーキ王子の名推理1&2」 七月 隆文/著
“とびきりおいしいケーキと出会う、かなしい出来事が幸せな思い出に変わった。”

ケーキが大好きな高校生の未羽とパティシエ修行をしている同級生の颯人がお菓子の知識で謎を解く！七尾市出身の辻口博啓さんのお店も登場します。文章を読むのが苦手でも、少女漫画のような雰囲気ですとサクサクと読めます。スイーツの紹介も必見！



「卵の花さんちのおいしい食卓」 瀬王 みかる/著
“そしてどんなに人生が辛くても、おにぎりはこんなにもおいしい。”

突然仕事を失い、おまけに住んでいたアパートが火事になって困っていた若葉は、近所の卵の花さんの家に泊めてもらうことになった。しかし卵の花さん一家は、人形のような美少女がいたり、ちょっと謎めいた人々だったので。



「ゆきうさぎのお品書き」 小湊 悠貴/著
“おいしいは、しあわせ。”

小料理屋「ゆきうさぎ」の店主である大樹は、ある日、店の前で貧血で倒れていた大学生の碧を助ける。碧は店に通っておいしい料理を食べるようになり元気を取り戻していく。和食を作る描写が多くて食欲をそそられます！肉じゃががとってもおいしそう！



今、話題の本



新刊ではないのですが、図書室にある本を紹介します！

2018年 本屋大賞受賞作 「かがみの孤城」 辻村 深月/著
中1のころは、クラスメイトとのトラブルが原因で学校へ行けなくなり、いつも家の中で過ごしている。ある日、部屋の鏡が突然輝きはじめて鏡をくぐりぬけると、そこは城の中だった！学校へ行きたくても行けない子どもの心情がリアルに描かれていて、感動とともにあたたかい気持ちになれます。

「君たちはどう生きるか」 吉野 源三郎/著

中学生のコペル君がさまざまな体験に対しておじさんからアドバイスをもらい成長していくお話。約80年前に書かれた本ですが現代にも通じるところがたくさんあります。

